

奈良県感染症発生動向調査還元情報 (週報)

奈良県感染症情報センター (奈良県保健研究センター内) **Nara IDSC**

今週の概要

■ 第 43 週の感染症情報

⊕ 第 43 週の感染症情報 (10月21日(月)~10月27日(日))

奈良県および医療圏別発生状況 (奈良県上位 5 疾患) (5 週前からの動向)

順位	疾患	定点当り	奈良県	北部	中部	南部
1	感染性胃腸炎	1.97	→	→~↑	→	→~↓
2	RS ウイルス感染症	1.41	↑	→	↑	→
3	A 群溶連菌咽頭炎	0.53	↑	↑↑	→~↑	↑↑
4	手足口病	0.47	→~↓	→~↓	↓	→~↓
5	水痘	0.44	→	→	→	↓

全県の動きと目立って異なる推移 (定点当りの変化程度で実数ではない) を太い矢印で示す。

県北部地区概況 報告数 (42→43 週) は 77→81 例と推移した。上位 5 疾患は①感染性胃腸炎 (36→34 例)、②水痘 (6→10 例)、③手足口病 (6→10 例)、④RS ウイルス感染症 (12→8 例)、⑤A 群溶連菌咽頭炎 (5→7 例)、眼科定点の報告は流行性角結膜炎が 1 例あった。基幹定点の報告は無菌性髄膜炎が 1 例あった。

(有山 記)

県中部地区概況 報告数は 94 例で、前週報告の 75 例から増加。上位 3 疾患は、①RS ウイルス感染症、②感染性胃腸炎、③A 群溶連菌咽頭炎で、RS ウイルス感染症が感染性胃腸炎と入れ代わり第 1 位となった。また、第 3 位以下は、突発性発しん (6 例)、次いで水痘・手足口病 (共に 5 例) の順であった。RS ウイルス感染症の報告数 (20→35 例) は、急増。感染性胃腸炎の報告数 (29 例) は、横ばい。A 群溶連菌咽頭炎の報告数 (9 例) は、ほぼ横ばい。桜井 HC および葛城 HC 両管内基幹定点からの報告は共になかったが、桜井 HC 管内眼科定点から、流行性角結膜炎が 1 例報告された。

(村井 記)

県南部地区概況 報告数 (42→43 週) は 13→14 例と推移。報告のあった疾患は、①RS ウイルス感染症 (4→5 例)、②感染性胃腸炎 (3→4 例)、③A 群溶連菌咽頭炎 (1→2 例)、④手足口病 (1→1 例)、④ヘルパンギーナ (0→1 例)、④流行性角結膜炎【眼科定点】 (0→1 例)、であった。

(柳生 記)